

令和3年度 公開研究会 事後アンケート回答

【研究基調について】

- ・生活上の課題の捉え方について詳しく教えて下さい。各教科等を合わせた指導の授業づくりの過程にも「活動のテーマ」と「生活上の課題」という言葉も出ていたので、その関連性や授業づくりの際の留意点などを教えていただければと思います。

(回答)

子どもにとってこういう力があるともっと生活が豊かになるなという側面からの課題として捉えています。さらに言うならば、生活に必要な力という考えですので、就労に向けた課題であるとか、本人や保護者が抱える課題としての捉えです。

そして、活動のテーマは、あくまでも主体的に活動するためのテーマであり、子どもたちにとっての明確な目標や目的、ゴールとして考えています。

ただ、あくまでも、生活上の課題を捉え、その課題の解決に向けた学習活動の設定の先に、子ども目線であるのが、活動のテーマと考えています。

- ・実態調査表や個別の指導計画について参考にさせていただきたい。

(回答)

- ・実態調査表については、本校の学校HPにデータがあり、今後、随時更新していきます。ぜひ参考にさせていただき、お気付きの点などご指導ください。
- ・個別の指導計画については、今後、様式や記入例を公開できるよう、検討していきます。

- ・学部の教育課程や週時程についても知りたかった。

(回答)

- ・本校の学校HP上に、各部の紹介ページがございます。そこに、週時程等を掲載していますので、お時間のある際に、ご覧ください。

- ・各教科等を合わせた指導の想定する姿【観点】の立て方について知りたいです。

(回答)

単元の指導計画にある、想定する姿については、その指導段階の主たる学習活動における具体的な姿を想定しています。その中で、例えば、知識や技能の習得（習得している姿）と考えられる場合には、【知・技】を当てています。児童生徒が、考える、選ぶ、表現する、判断するなど、学習活動に対応して、思考したり判断したりしている姿と考えられる場合には、【思判表】を当てています。

主体的に学習に取り組む態度については、自分から、何度も、繰り返すなどをキーワードに、児童生徒自らが活動に取り組む姿や活動の目的やテーマに向かって学ぶ姿を、学習活動に照らして考え、設定しています。こうした観点の設定については、授業を構想しながら、TT間で考え、共有していますが、各教科等を合わせて考えているので、具体的な教科とその内容にしぼって設定したり、振り所にしたりするのではなく、活動とそこでの姿をベースに考えています。

今後は、設定する際の振り所や根拠についても、考えていきたいと思っています。

- ・見取りのポイントはいわゆる観点別評価規準のことかと思うのですが、評価の場面などの記載などは行わず、授業全体や題材全体を通して評価をしているという認識でよろしいでしょうか。また、その見取りのポイントは当該題材や授業における見取りポイントであり、その他の教科や領域の授業や日常生活の中での見取りではないということであっているでしょうか。

(回答)

- ・指導案の展開の書き方のパターンについて、美術や体育、作業などでは、どこでどのような活動をするのか明確になるように、環境構成図と一体になった本時の展開案（今回で言うと、小学部の体育や中学部の美術など）を採用しています。また、学習集団の中の関わり合いを意図して、ペアやグループで学習する場合に、ペアやグループの構成がわかるように並びを工夫している展開案（今回で言うと高等部の作業や小学部の算数）があります。その他、オーソドックスな表タイプ（高等部の国語）もございます。上記のように意図的に展開案を変えて作成しています。
- ・見取りのポイントについては、単元における、もしくは本時における見取りですので、単元の目標や本時の目標に対して、授業の中で見られた姿を評価しています。日常の姿の評価はまた別に考えています。そして、評価場面や方法は記載しておりません。これは本校がかねてより、「姿として捉える、見取る」ということを大切にしています。ですので、全てが「～している」という具体的な言動や姿で記述しています。ただ、評価場面や方法をしっかりと明記することで、より評価がしっかりとできるとも捉えられますので、今後も見直していければと考えています。

【公開した授業に関する質問】

〈小学部 算数〉

- ・集団で学習することで、「自分も作りたい」と目的意識を引き出すことにつながったのか、本時の授業を終えての評価を伺いたかった。

(回答)

- ・友だちと集団で学習することで、友だちが作った形を見たり、友だちの「○○をつくった！」という発言を聞いたりして、その形を真似て同じような形を作ろうとするなど、新たな気付きを得たり、意欲を高めたりする姿がありました。
- ・本時の評価について、対象のGさんですが、はじめは色板同士がどのようにつながっているかを捉えることが難しく、作りたい形をならべる際に、思ったようにできないと諦める様子がありました。友だちのならべ方を見るなど参考にすることで、徐々に作りたい形を並べることができるようになりました。自分で「(形をつくること)ができた」という経験を積み重ねて自信を深め、単元の終盤には、三角を組み合わせて新幹線や風車の形を作る姿が見られました。

〈高等部 国語〉

- ・「宝さがしゲーム」と本時の単元の目標との関連性について知りたかった。

(回答)

生徒の実態から、個々の本単元の目標を設定し、目標を達成できるような学習活動を構想しました。そして、4名の生徒が協力して、主体的に学習に取り組みながら、正しく文を読み取った結果が行動として表れるように、生徒の特性等を考慮し、ゲーム性のある「宝さがしゲーム」を設定しました。

本時の目標は、全14時間中、7時間目の目標であり、宝さがしゲームの活動をとおして、この時間に何ができるようになるとよいかを具体的に考え、個々に設定しました。

〈中学部 美術〉

- これだけの時間をかけて一つの題材を扱うということは、年間指導計画には何個の題材が計画されているのでしょうか？それは学部内で系統性を考えた計画でしょうか。

（回答）

本校は前後期制を採用しています。前期と後期ともに指導期間を4つにわけ、年間には指導期間が8つあるので、おおよそ8単元の実施をしています。中高に関しては、就業体験（校内実習・校外実習）を年に2回計画しておりますので、実質6つの指導期間で6つの単元や題材を計画、実施しております。質問への回答とすると、年間、6つの題材を行っております。

6つの題材の中で、絵画や彫刻、デザインや工芸をバランス良く割り振っています。今回はデザインを充てており、次回は、彫刻をする計画になっています。そして、これらの学びを実態調査表に反映し、個々に積み重ねた学びを基に関連付けたり、系統立てたりして指導しています。

〈小学部 生活単元学習〉

- 初めて会う講師の方や大学生の顔写真や名前を提示しておかなかったのは、意図があつてのことでしょうか。見通しをもたせるために、「この人たちが来るよ。」と写真とともに知らせておくことは本校でもよく行う支援ですが、敢えて最初から提示しなかったようなので質問させていただきました。

（回答）

今回の意図として、初めて会う人とのやりとりに重点を置きました。そこで、教員がつなぎ役となることを考えました。そして、子どもたちが、誰がくるのか、わくわくしたり、ドキドキしたりするなど、出会いを楽しみにできるようにすることも大事にしました。ただ、次回以降の活動にも期待できるように、一度会ったら名前と顔写真を掲示するようにしていました。

〈中学部 作業学習〉

- 事前に依頼者に、どのような要望を聞いていたのかが知りたかったです。その要望の中に「きれいな」の条件に関する内容が入っているのか、また、授業の最後に出来栄を確認する際に、要望を意識した見直しができているのかが気になりました。

（回答）

事前の要望としては、要望シートを用いて、「花の種類」、「色（色合い）」、「プランターの種類（形や色）」を聞き取るようにしました。次に苗を仮置きしたものをリモートで確認した際に、花の向きや大きさなどを選んでもらう中で「きれいな」を具体的に捉えるようにしていきました。授業の最後は要望シートやリモートでのメモなどを手がかりにしながらか見直しができるようにしました。

〈中・高 作業学習〉

- 実態が様々な集団で取り組む作業学習において、学習の最後に生徒自身が行う反省で使用するワークシートなどは、どのような様式や配慮が必要であるかなど、参考にしたいので教えていただけますと有難いです。
- 「作業学習」における評価の仕方（何か書式があるか、どんな方法で行うか）はどのようになさっているのか、興味があります。

(回答)

- 個々のねらいに迫るため、そして実態に合ったものにするために一人一人に合わせたワークシートを用意するようにしています。その際、写真などを貼って目標や頑張ったことを視覚的に示すなど、生徒が内容を捉えることができるように工夫しています。

- 評価については評価をする目的に合わせて使いわけています。

生徒自身が行う自己評価については、「振り返りシート」として、チェック表のような、印をつけるようなシートを用いることもあれば、生徒が目標を達成できたか振り返ることができるように、作業日誌のような形式で、目標と行った作業内容や成果（出来高）を記録するようにしています。

教員が行う評価については、個別の指導計画上に単元ごとの目標を設定しており、その目標に沿って評価を行っていきます。

また、依頼主やお客様がいる作業種や作業の内容によっては、教員が行う評価とは別に、他者評価として、アンケートを用いるようにもしています。そして、生徒が目標を達成できるように、アンケートの項目を工夫したり、自己評価との違いを捉えることができるように、個々に応じて工夫しています。

寄せられた質問への回答は以上となります。この他にも、動画等の配信資料についてや、研究会の進め方など、大変ありがたいご意見を多くいただきました。いただいた意見を基に、次年度以降の公開研究会を計画、準備し、多くの方にとって、有意義な公開研究会にしていきたいと思えます。

ご質問やご意見、ありがとうございました。今後とも本校の研究についてよろしく願いいたします。